

「旧根岸競馬場一等馬見所」を次世代へ継承 ～旧根岸競馬場一等馬見所の魅力を伝えるウェブサイトを開設し ふるさと納税の寄附受入れを開始します！～

横浜市は、開港以来の横浜の歴史を今に伝える貴重な歴史的建造物の耐震化を「横浜市地震防災戦略」の重点取組に位置付けており、中区にある「旧根岸競馬場一等馬見所」（以下「馬見所」という。）について、耐震補強を推進するとともに、歴史的建造物ならではの魅力を活かした活用の検討を進めています。

このたび、今後の活用に向けて馬見所の価値を広く知っていただくため、魅力を伝えるウェブサイトを開設しました。サイト内では、普段は立ち入れない内部の様子をPR動画、3Dモデリングや360°バーチャルツアーで体験できます。

あわせて、保存・活用を支えるふるさと納税の寄附受入れを開始します。



馬見所の外観

1 馬見所について

馬見所は、慶応2（1866）年に日本初の洋式競馬場として開設された「根岸競馬場」が関東大震災の被害を受けた後、昭和4（1929）年に建築された鉄骨鉄筋コンクリート造7階建ての歴史的建造物です。外国人の娯楽の場としてだけでなく、社交や外交の舞台としても機能し、戦争や接収を経て横浜の歴史を今に伝える、国内に唯一現存している戦前の馬見所建築です。

平成20年度には近代化産業遺産※¹にも認定されるなど、歴史・建築の両面で高い価値を有し、開港以来の横浜の歴史を物語る記念碑的な建造物となっています。

現在、建物を含む周辺地域は根岸森林公園として、市民の皆様の憩いの場となっています。

（馬見所の内部は安全上の理由により立入りはできません。）



当時の内部の様子（食堂）

（横浜開港資料館所蔵）



現在の内部の様子（食堂）

※1：「近代化産業遺産群 続33」（平成20年度 経済産業省）において、「旧居留地を源として各地に普及した近代娯楽産業発展の歩みを物語る近代化産業遺産群」として認定されました。

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/creative/kindaikasangyoisan/index.html

【裏面あり】



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 ウェブサイト開設の経緯

令和6年に、テーマ型の「共創フロント」※²を通じて馬見所の魅力向上につながる活用策を募集したところ、NPO法人 J-heritage※³からVRコンテンツによるPRの提案をいただきました。

この内容をもとに、馬見所の価値を次世代へ継承することを目的として、今年3月に同法人と連携協定を締結し、ウェブサイトとサイト内のコンテンツを作成していただきました。

※²：新たな事業機会の創出と社会的課題の解決に取り組むため、横浜市が設置した相談・提案窓口です。

※³：J-heritageは、わが国が近代化・経済成長を成し遂げたことを物語る貴重な遺産である、産業遺産の価値や魅力を伝え、広めることを目的に設立されたNPO法人です。軍艦島や奈良監獄をはじめとする全国各地の産業遺産の記録・調査や産業遺産を巡るヘリテージツーリズム、スタディーツアー等を行っています。

(参考) J-heritage ウェブサイト <https://www.j-heritage.org/>

3 ウェブサイトについて

馬見所の魅力を伝える
PR動画



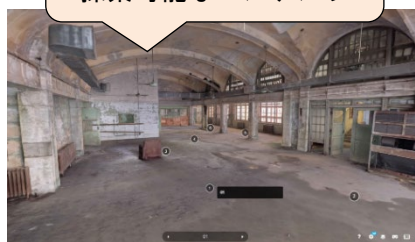
PR動画

3Dモデリングにより
外観を再現



3Dモデリング

馬見所の内部を自由に
探索可能なコンテンツ



360° バーチャルツアー

ウェブサイトURL：

<https://umamisho.heritabi.com/>



TOPサイト

4 ふるさと納税の寄附受入れについて

ふるさと納税の寄附については、下記URLにて申込みを受け付けています。

ふるさと納税サイトURL：<https://furusato-yokohama.jp/articles/19/>



お問合せ先

(中長期的な活用について)

政策経営・国際戦略局経営戦略課 担当課長 林 Tel 045-671-4172

(ふるさと納税について)

みどり環境局戦略企画課 公園プロモーション担当課長 河辺 Tel 045-671-3866

(旧根岸競馬場一等馬見所の魅力を伝えるウェブサイトについて)

NPO法人 J-heritage 総理事 前畑 Tel 078-380-7926



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷